

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予報第9号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病害虫発生予報第9号(12月)

【野菜】

作物名	病害虫名	発生現況 (平成比)	発生予想 (平成比)
イチゴ	灰色かび病 うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 並 やや多い 多い	並 並 やや多い 多い
ナス	うどんこ病 灰色かび病 すすかび病	やや多い 並 やや少ない	並 並 並
トマト	灰色かび病 葉かび病	並 並	並 並
キュウリ	べと病 うどんこ病 灰色かび病	並 やや多い 並	並 並 並
キャベツ	黒腐病 菌核病 コナガ アブラムシ類	並 並 少ない 多い	並 並 少ない 多い
レタス	菌核病 灰色かび病 腐敗病	並 並 やや多い	並 並 やや多い
野菜共通	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	並 並	並 並

【野菜】

1 イチゴのうどんこ病

(1) 予報の内容

発生量：平年並、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 11月5半旬調査の結果、発病株率は4.2%（平年：4.6%、前年：0.2%）であった。

イ 気象予報では、12月の平均気温は平年並か低く、降水量は平年並と予想されている。（以下の病害虫についても同じ）

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本病の初発生は、新しく展開した葉の裏に認められるので、上位葉裏面の病斑の有無を随時確認し早期発見に努める。

イ 下葉かぎを行い、薬液が葉裏にもかかるようにする。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

2 イチゴのアブラムシ類

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 11月5半旬調査の結果、寄生株率は4.7%（平年：1.6%、前年：2.8%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難となるので、発生状況に十分注意し初期防除を徹底する。

イ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3 イチゴのハダニ類

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より多い

(2) 予報の根拠

11月5半旬調査の結果、寄生株率は16.8%（平年：2.3%、前年：3.4%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハダニ類は定植直後から多く発生しており、防除後も密度が低下していないほ場が認められるので、薬剤の選定に当たっては十分に注意し、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

イ 厳寒期には活動が抑えられ増加は緩慢となるが、気温が高くなる2月下旬頃から急激に発生密度は増加する。

ウ 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

エ イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺の雑草の除草等を行う。

オ 寄生した株の葉かぎ後の複葉や抜き取った雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。

4 キャベツのアブラムシ類

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 11月5半旬調査の結果、寄生株率は18.4%（平年：3.2%、前年：0.4%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難となるので、発生状況に十分注意し初期防除を徹底する。

イ 葉裏に生息する場合が多いので、葉裏にも薬剤が十分かかるよう丁寧に散布する。

ウ 結球内部に寄生すると商品価値がなくなるので、結球前の防除を徹底する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

5 レタスの腐敗病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 11月5半旬調査の結果、発病株率は1.4%（平年：0.0%、前年：0.0%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 凍害にあうと発病しやすくなるので、トンネルのビニール被覆が遅れないようにする。

イ ビニール被覆後は換気を行い、トンネル内が高温多湿にならない管理を行う。

ウ 被害株はほ場に放置せず、ほ場外に持ち出し処分する。

エ 多発後は防除が困難となるので、結球始期を中心に発病前の予防散布及び発病初期の防除を徹底する。

病害虫防除所では、病害虫の発生状況と防除についてホームページでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka>
電子メールアドレス kfok0301@sp.jppn.ne.jp

九州北部地方（山口県を含む） 1か月予報

（11月26日から12月25日までの天候見通し）

平成17年11月25日
福岡管区气象台発表

< 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

九州北部地方では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。2週目を中心に気温の低い日が多いでしょう。

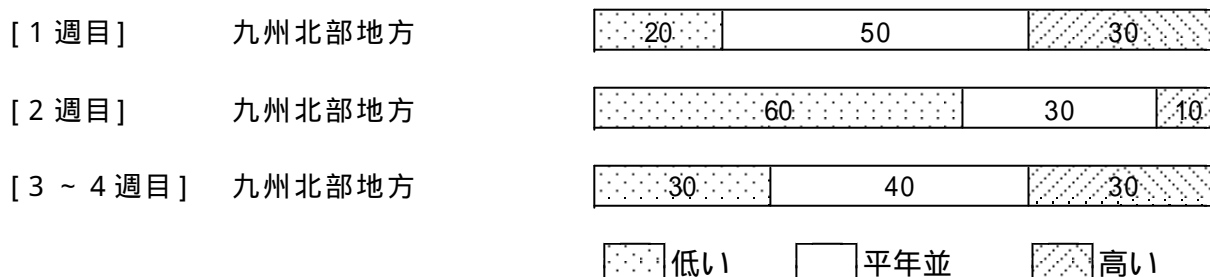
向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量は平年並、日照時間は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は低く、3～4週目は平年並でしょう。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%） >



< 気温経過の各階級の確率（%） >



< 予報の対象期間 >

1か月 : 11月26日(土)～12月25日(日)

1週目 : 11月26日(土)～12月 2日(金)

2週目 : 12月 3日(土)～12月 9日(金)

3～4週目 : 12月10日(土)～12月23日(金)

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月2日

3か月予報：12月22日(木) 14時00分